

会所仮埋め工法 - EPS による仮埋め工法 -

1. はじめに

掘り置き不可能な市街地等で、通常の仮埋め工法に比べて、作業時間の低下、砕石等の材料費の削減を図るための工法です。

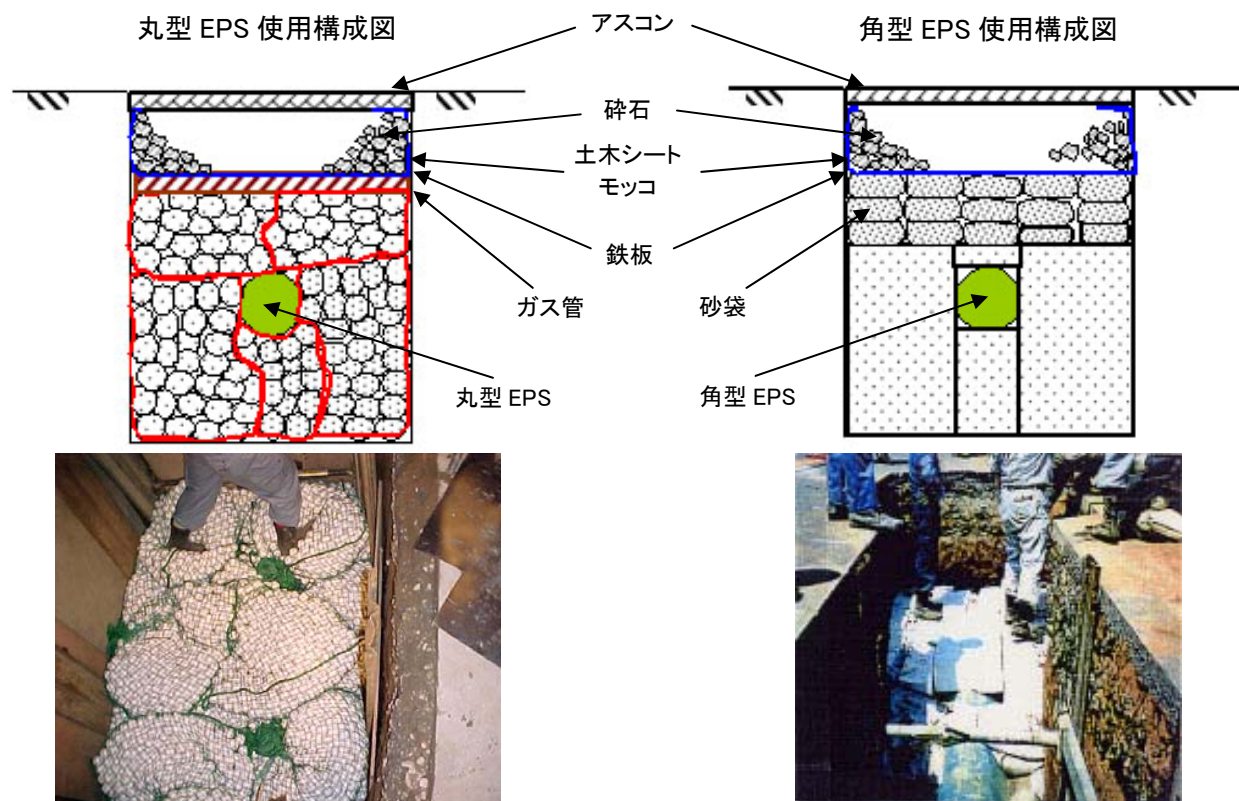
2. 工法の概要

(1) 工法の説明

会所仮埋め工法とは、埋設管の当日終端部を EPS を主体とした仮埋め材料を用いて仮に埋め戻しを行い、翌日掘削時に仮埋め材を取り出すことによって溶接会所を作る工法です。

(2) 工法の概要

EPS は発泡スチロール「Expanded Polystyro」の略であり超軽量(土砂の 1/100)でありながら、約 1~3kg/cm² の圧縮強度を有しており、土木材料としても軟弱地盤上での盛土材料として使用されています。

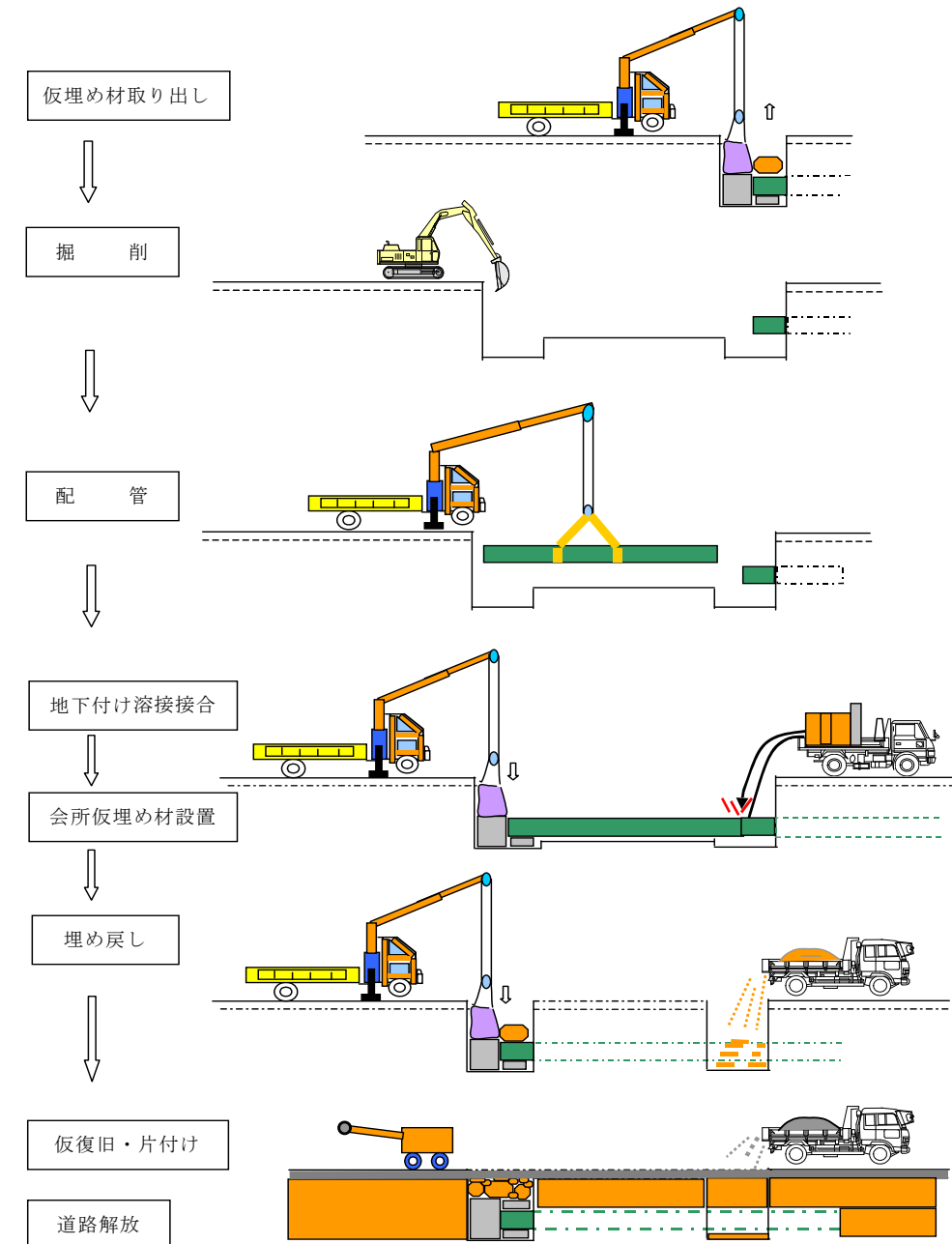


※EPS の種類により、仮埋め構造は異なります。

3. 工法の特徴

- EPS を主体とした仮埋め材料を取り出すだけで溶接会所が出来上がり、掘削時間の短縮が図れます。
- 残土処理分量、埋め戻し砂、砕石等骨材費の削減が図れます。
- EPS 等の材料は繰り返し使用できます。

4. 作業フロー



5. 実績

お問い合わせ下さい。